

令和2年度机上演習 (TTX) 成果報告等について

令和3年4月20日
内閣府宇宙開発戦略推進事務局

演習の概要

目的	<p>宇宙システムに機能低下等が発生した際の、</p> <ul style="list-style-type: none">①社会経済、国民生活への影響分析、②状況把握、対応要領（回復措置）の検証、③関係機関等との連携及び意思決定プロセスの検証 <p>➡ <u>我が国宇宙システム全体の機能保証強化</u></p>
実施日時	<ul style="list-style-type: none">○ 事前説明会 : 令和3年2月 3日（水）（オンライン開催）○ 演 習 : 令和3年2月10日（水）○ 成果報告会 : 令和3年3月11日（木）
演習項目	<p>演習 1 : 状況付与による対応型演習</p> <p>演習 2 : 社会的影響等に関するパネルディスカッション</p>
参加省庁	<p>衛星に関する事業の所管省庁を中心としてプレイヤー4府省庁、オブザーバー6省庁等、100名強が参加</p>

1 情報共有の枠組み等

- 迅速・適切な初動対応のためには機関内の異なる部局同士、また各機関同士の横のつながりによる宇宙システムの状況の取りまとめ及び情報共有の枠組み
- 利用側・国民に対する適時・適切な情報提供のあり方

2 初動対処のあり方

- 政府としての対応方針、対策の検討及び調整を行う体制との関係整理
- 同時多発的・複合的な脅威をも想定した対処の考え方

3 演習の形態等への課題

- 利用側での代替手段の確保や対処の検討のための、政府の対処方針等の付与
- 機能低下が継続する時間・期間の見通しのシナリオ及び状況付与上の扱い
- 宇宙システムの機能低下に関する影響見積の精緻化